

令和元年度 第14回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和2年3月3日（火） 13時00分から15時00分まで

開催場所：A203、204 会議室

出席者：牧野市長、木下副市長、代田教育長、寺澤総務部長、櫻井総合政策部長代理田中企画課長、細田リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、寺田産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、北澤危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長、青木地域人育成担当参事、赤羽目消防長兼総合政策部付参事、原田秘書広報課長、塚平財政課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

新型コロナウイルスに対応する各部署の尽力について感謝する。本日午前中の記者会見で市内の小中高校の臨時休校の対応説明を行った。全国的な問題が起きている状況で、それぞれに神経を使っていたが、しっかり情報共有しながら一丸となって取り組んでいきたい。今後についても不透明な部分が多いが、対策本部は必要に応じて随時開催して対策を講じていきたい。

年度末にむけては、しっかり業務を振り返り、次年度の準備を進めてほしい。また、新型コロナウイルスにより行政サービスが低下することがないように細心の注意を払って取り組んでほしい。

<副市長>

明日から一般質問及び委員会が開催となる。これまでの質問経過などを踏まえしっかり対応できるよう準備を進めてほしい。

<教育長>

学校の状況について情報共有をする。市長からも話があったとおり3月2日から臨時休校の措置をしたが、現時点では大きな混乱はなく、関わっていただいた学校関係者、保護者はじめ地域の皆様には感謝している。引き続き、子ども達の安心安全を第一に考えながら対応をしていきたいと考えている。

飯田下伊那の連携に関しては、今後の対応については、同じ方向性で進めることとしている。

臨時休校に伴う児童の自宅待機という状況について、今後どんな課題が起こるか分からないが、このような時だから、市がどんなサポートをできるかが問われていると思う。各部署においても是非、ご意見があればお願いしたい。

2 協議事項

(1) 地域協議会への諮問事項等の整理について（市民協働環境部）

◇趣 旨：地域協議会に関して、地域の意見が十分に反映される諮問となるよう、課題点の共有と諮問事項等を整理して、改めて各部署への周知を図る。

◇論点・課題

・年度初めに地域協議会に対する諮問事項について庁内への照会を実施しているが、重要案件に関して、議案提出直前の諮問になる場合があり、地域の意見が十分に反映できる期間がないなどの意見がだされているため改善を図る。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(2) 平成30年度飯田市財務諸表について（総務部）

◇趣 旨：平成30年度決算に基づき作成し、公表予定の財務諸表4表についての協議。

◇論点・課題

・総務省が示す財務書類分析の視点を参考として、資産形成度、世代間公平性、持続可能性、効率性、弾力性、自律性についての指標を用いて、平成28、29年度と平成30年度を比較、考察した。

◇主な意見等

（教育次長）3月議会を報告する時期としている理由を確認したい。

（財政課長）基本的には前年度決算を基に作成するため、以前は12月議会で報告していた。昨年度から類似団体との比較分析を行うことになったため、3月議会で報告をさせていただいている。

◇協議結果

部長会了承

3月19日開催予定の飯田市議会全員協議会に付議する。

(3) 飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画の報告について（総務部）

◇趣 旨：行財政改革本部で検討した行財政改革大綱2019年度取組と2020年度計画内容についての協議。

◇論点・課題

・計画最終年度となる2020年度末の地方債残高を550億円以下、基金残高を40億円以上として、4つの取組の柱（①コスト意識を重視した事業展開、②市役所の仕事の仕方改革、③公共施設への民間活力活用と施設最適化、④職員配置の適正化と職員の資質向上と推進）に加えて、新たな取組としてRPA（ロボットによる業務自動化）の導入に向けた検討を2019年度に開始しており、2020年度も取組を推進していく。

◇主な意見等

（教育次長）取組の柱4に関する職員配置数の表が分かりにくいので説明の際に工夫した方がよい。また、前回の全員協議会の際に議員から出された質問に対する考え方が記載されているため、該当箇所を丁寧に説明してほしい。

◇協議結果

部長会了承

3月19日開催予定の飯田市議会全員協議会に付議する。

(4) 飯田市公共施設マネジメント基本方針に基づく公共施設（建物）の適正管理について（総務部）

◇趣 旨：行財政改革本部会議で検討した基本方針に基づく公共施設（建物）の適正管理の第1段階（2015～2019年度）の検討結果と第2段階（2020年以降）の進め方についての協議。

◇論点・課題

・第1段階では、優先検討施設を選定し方向性を定めて施設の廃止や休止、リニューアルに取り組んできたが、その結果や課題をふまえて、第2段階では全体の方針を明確に示す中で公共施設（建物）の量的な適正化を図っていく。

・今後59年間で1,410棟ある公共施設を全て更新する場合の費用を試算すると1,467億円となる。第2段階の取組を進めるにあたっては2割程度の削減を目標としていく。

◇主な意見等

（教育次長）教育委員会では今年度と来年度で学校や社会教育施設の調査を実施し改修計画を策定することで、国の有利な財源を受けられる準備を進めていることを共有する。また、この件と公共施設等総合管理計画との関係性はどうか確認したい。

（財政課長）公共施設等総合管理計画はインフラも含めた大きな枠組みで策定された計画であり、その中の建物にポイントを絞ったものが今回の案件と位置付けている。

◇協議結果

部長会了承

3月19日開催予定の飯田市議会全員協議会に付議する。

(5) 子育て応援プランについて（健康福祉部）

◇趣旨：平成27年3月に第一期子育て応援プランを策定。第二期（令和2年度～6年度）に関して、パブリックコメントや社会福祉審議会を経た最終案について協議。

◇論点・課題

- ・子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」と、次世代育成支援対策推進法に基づく「市町村行動計画」を一本化して策定するもの。
- ・施策の推進にあたり、親や家族、地域などすべての主体が役割を果たし、連携した取組を目指しており、6つの基本目標を設定している。
- ・施策の方向性として令和元年9月に掲げた「幼児教育・保育のあり方方針」を反映させている。今後のニーズを考慮し、人材確保を主とした環境整備を進めていく。

◇主な意見等

（教育次長）第二期プランにおいて、（認定こども園における）幼児教育の概念などが反映されている部分を確認したい。

（子育て支援課長）基本目標3「子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境」の前文において、特色や地域との連携を踏まえて明記した。

◇協議結果

部長会了承

3月19日開催予定の飯田市議会全員協議会に付議する。

3 報告事項

(1) 公営住宅の長寿命化計画について（建設部）

◇趣旨：平成22年に策定した飯田市公営住宅等長寿命化計画の改訂案について協議。

◇論点・課題

- ・平成30年に策定した「飯田市住生活基本計画」を踏まえ、国が示す「公営住宅等長寿命化計画策定指針」に基づき耐震性に係る安全性確保を優先事項として安全確保を図る。

◇主な意見等

特になし

(2) 令和元年度飯田市補正予算（第9号）について（総務部）

◇趣旨：令和2年飯田市議会第1回定例会に提出予定の一般会計補正予算（第9号）案について報告。

◇主な意見等

特になし

(3) 令和2年度記者会見の日程について（市長公室）

◇趣旨：令和2年度記者会見の日程について共有。

◇主な意見等

特になし

(4) 令和2年度広報いいた特集掲載計画について（市長公室）

◇趣旨：令和2年度の特集記事の計画について共有。特集内容や掲載時期に要望があれば広報と調整。

◇主な意見等

特になし

(5) 飯田市地域防災計画の修正について（危機管理室）

◇趣 旨：平成 29 年の九州北部豪雨、平成 30 年の豪雨等の経験による国及び県の計画変更に伴い、市の防災計画について修正する。

◇主な意見等

（市立病院事務局長）災害拠点病院に関する計画修正の記載があるが、担当者と十分に協議をしてほしい。

(6) 飯田市議会各常任委員会協議会報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：3月9日から13日に開催予定の飯田市議会各常任委員会協議会に付議される予定の案件の報告。

◇主な意見等

特になし

(7) 飯田市議会全員協議会（3/19）における報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：3月19日開催予定の飯田市議会全員協議会で予定されている案件9件を報告。

◇主な意見等

特になし

4 その他

- ・内示及び辞令交付の日程等について（人事課）

令和2年4月1日付け人事異動に係る内示及び辞令交付等の日程の確認。

- ・広域連合の情報について（企画課）

広域連合の令和元年度事業の進捗及び南信州広域連合第4次広域計画後期基本計画の共有。

- ・新型コロナウイルス対応について（市立病院）

外来受診による感染予防対策として、処方箋のFAXもしくは郵送での対応について国から通知が出されたので、希望者に対しては対応していく予定である。また、国から新型コロナウイルス患者の受入可能数の確認など緊急の照会や指示が来ている。院内や病院間の会議や情報共有を行いながら対応を進めているので現状について共有しておく。

5 閉 会